



# とべだより

平成29年4月27日

5月号

横浜市立戸部小学校

校長 柳澤 潤

「新たな出会いが、人を育てる」

学校長 柳澤 潤



まち全体が、例年より長くソメイヨシノの淡いピンクに包まれ、お祝いの雰囲気満喫できたように思います。近所にある掃部山公園、御所山公園の桜も見事でした。今は、正門のイチョウの大木が、緑の若葉であふれています。

新年度スタートから一か月、1年生の学校探検も始まりました。戸部小では、「とべフレグループ」（1年生から6年生までの縦割り少人数のグループ）を組織しています。新1年生が入学してから6日目、初顔合わせの「とべフレグループ」が活動を始めます。1年生を迎える会では、グループごとに新入生を迎え、上級生は「とべ音頭」を一緒に踊り、「とべとべコール」で、大いに盛り上がります。新しく出会ったばかりなのに、すでに一緒に踊る踊りがあり、歌があり、応援のコールがあります。これらの一連のお迎えをすることで、1年生が必ず元気になり喜ぶことを知っているのです。6年生は、リーダーとして、優しくかわかることが誇らしいのです。子どもの心も芽吹き始めました。

「子どもが主役の学校」の戸部小には、このように子どもたちの中に根付いている学校の素敵な文化があります。「とべフレグループ」での出会いと始まりが、一人ひとりの安心感につながり、学校全体のエネルギーに代わっていきます。

戸部小では4月中すでに、共育倶楽部（見守り安全・読書サポート・ふれあい・環境整備の皆様）総会、学校運営協議会を行い、地域の方との顔合わせ、それぞれの皆様の想いや役割の確認など、意見の交換ができました。戸部（飛べ）が、高く遠くに飛ぶためには、ホップ・ステップ・ジャンプの一步目が大切です。活動のスタートが早く、スタートから熱いのです。戸部のまちの1年生としての私は、熱く支えてくださる想いを感じ、とても心強く思いました。子どもたちは、地域の皆様に支えられて、まっすぐに育つことができます。朝会での守り隊の皆様の紹介、1年生のお礼の校歌の披露も子どもたちと地域の方々との新たな出会いの一コマでした。

人は、人の中で磨かれます。学校は、人と人との出会いを演出する場であり、人と人をつなぐネットワークの拠点であり、地域の灯台の役割を果たすものです。「共育」の理念を共有し、子ども・保護者・地域・まちが、より一層仲良く元気であることを願っています。

ゴールデンウィークが始まります。久しぶりの人と会うことも、うれしいことです。また、「こどもの読書週間」（5月12日まで）でもあります。標語は「小さな本の大きなせかい」。一冊の本との出会いも、新たな出会いになります。ゆっくり本にも向き合い、自分磨きをしたいものです。

各ご家庭でも、連休中は、安全に有意義にお過ごしください。

地域・保護者の皆様、今月もどうぞ、よろしくお願いします。

